

会報・臨時号 ⑤

『5月理事会開催』 ～ 5月はオンライン例会開催 ～

<小森勇一:会長あいさつ>

5月の活動を見通して

国際ロータリーと私たちは、ポリオプラスという特別な奉仕プログラムを策定し、1985年以來取り組んできました。国際社会も、ポリオ撲滅を決議しました。2007年、ロータリー財団と、国際ロータリー理事会は、ポリオがなくなったと証明される日まで、ポリオプラスは第1のプログラムであると宣言しました。

これまで、何もそこまで頑張らなくてもという思いもありました。しかし、今コロナ感染症のパンデミックの状況に遭遇して、ロータリーは、すごい目標を立てて取り組んできたのだという感慨です。



ウイルス感染症の怖さを感じます。

休会が重なり活動が、うまくいかない不安で

いっぱいですが、コロナ後を見据えて、活動のエネルギーを蓄えたいところです。会員の皆様におかれましては、くれぐれもご自愛の上、明日に備えていただきますようお願いいたします。

<幹事報告:今川隆>

5月13日、例会は休会としたが、定例理事会は予定通り開催した。しかし公民館等、公共施設の貸し出しは停止されているので、今川幹事宅で開催した。

1. 第1号議案 新型コロナウイルス感染症対策

(1) これまでの経過 (略)
(2) 5月4日(水)茨城県など特別警戒地域延長の宣言談話を請け、予定していた、5月13日の例会を急遽休会とした。

その上で、会報臨時号④ 第50巻38号を会員に届けた

(3) こうした状況のもと、5月の活動をどのようにしたらよいか決定したい。

具体的には、5月20日(水)、27日(水)の通常例会を休会とする。

(4) ただし、会報臨時号⑤、⑥を発行する。この提案に対し、1週ごとに様子を見るよりも5月は休会にすると決定した。

なお、5月20日(水)12:30分から、オンライン例会を試行することとし、大高司郎地区クラブ奉仕総括委員長にお願いした。パソコン、タブレット、スマートフォンなど、お持ちの方は積極的に参加をお願いいたします。

2. 第2号議案

以下は5月の予定ですが、休会となります。

5月13日3団体合同例会 中止

5月20日記念事業について 中止

5月27日イニシエーション・スピーチ 中止

月 日	プログラム	担 当	月 日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
5月20日	オンライン例会(会員現況報告)	クラブ奉仕委員会			
5月27日	オンライン例会	クラブ奉仕委員会	34		
6月3日	記念事業、定款・細則について	記念式典実行委員会、R情報委員会	出席率 :		
6月10日	新旧AG訪問、次年度引継ぎ	今年度委員長	前々週訂正 :		

事務所: 〒318-0033 高萩市本町2-65
常陽銀行高萩支店内 TEL/FAX: 0293-24-0505

URL <https://www.takahagirc.jp>

E-Mail: takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長: 小森 勇一

幹 事: 今川 隆

例 会: 毎週水曜日 12:30~13:30

公共イメージ委員: 石平光 石君平 鈴木直登
大河原浩 田所和雄 棚谷 稔 大高司郎

3. 第3号議案 6月のプログラム

ロータリー親睦活動 月間

6月は予定通り実施する。ただし例会場が使用できる見通しがはっきりしていない。今のところ、「月乃家」で、開催したい。

6月3日 定款、細則の決定

記念事業について

6月10日 新旧ガバナー補佐来訪、挨拶
次年度への引継ぎ 現年度委員長

6月17日 1年回顧 会長幹事

6月24日 年度末例会「反省会」

4. 第4号議案 定款細則の改訂について

会報臨時号③にも提起したが、現行の定款細則の根幹は改訂しない。しかし、入会金条項等、不必要な部分もあり、その改訂を決定する。

5. 第5号議案

去る4月3日の高萩市長との会談の後、先日、4月28日田所会長エレクトのもとへ高萩市高齢福祉課城戸課長が来訪し、以下のような話がありました。(1) 申し出のあった寄贈看板の件で、「屋外広告物のでびき一平成19年一県土木部都市計画課」の指針に準拠して進めたい。

(2) 高萩市と高萩ロータリークラブの連名にしたい。



(3) 写真は設置場所として示されたもの

高萩市総合福祉センターと、リーベロ高萩の境のあたり、前方のプレハブの平屋 投票所に使用、高萩市保護司会がサポートセンター分室として借用して使っている。(正面の図面と、下は側面図) これについて理事会に報告した。実行委員会としては、後日全体で協議し、話し合いを進める考えです。

「オンライン例会」のご案内

高萩 RC は、新型コロナウイルス感染症対策で通常例会を休会中です。5月20日・27日の例会はそれに代わり、WEB 上でオンライン例会 (Zoom) を開催します (出席報告をお願いします)。開会は12時30分からとします。



国際ロータリー (RI) では E-CLUB での例会を認めています。2016年の規定審議会において従来型のクラブでもインターネット例会が可能となっています。新型コロナが猛威をふるう中で、例会の在り方のひとつとして示せればと思っております。

5月「青少年奉仕月間」

奉仕がもたらす青少年交換学生へのインパクト

ロータリー青少年交換学生は、受入地区の奉仕プロジェクトに参加することで、貴重な技能を学び、重要なつながりを築くことができます。奉仕プロジェクトは現在、新型コロナウイルス流行による影響に対応しなければなりません。クラブは、若者が参加できるようにするための革新的な方法を模索しています。



5月3日：新型コロナウイルスへの #ロータリーによる対応に焦点をあてた**テレソン**が開催されました。ご参加いただいた皆さま、また、ご寄付をいただいた皆さま、誠にありがとうございました！世界中のロータリアンが一丸となって新型コロナウイルスに打ち克つために活動していることが紹介されました。



世界中で 65,000 人を超える視聴者が 21 の助成金に約 53 万ドルの寄付。

新型コロナウイルス感染症対応

国際ロータリー日本事務局 : 5 月末テレワーク
ロータリーの友事務所 : 5 月末テレワーク
ロータリー米山奨学会 : 5 月末テレワーク

国際ロータリー理事会の決定事項

(理事会は、国際ロータリーの方針を定め、クラブ発展のための指針を提供します。2 年任期を務める理事は、毎年ロータリー国際大会でクラブによって選ばれます)

2020 年 4 月

2019-20 年 RI 理事会は、2020 年 3 月 18 日ならびに 4 月 21~24 日にビデオ会議を開催し、10 の委員会報告を確認し、36 の決定を行いました。

新型コロナウイルスへの対応

2 月 25 日執行委員会による決定

理事会は、新型コロナウイルス流行中のロータリアンの健康と安全を最優先とすることに同意し、

- ・会合の開催においては地元政府の推奨に従うことを地区に奨励しました。
- ・新型コロナウイルスの影響で、地元政府が会合への制限を推奨している場合、または地区リーダーが会合への制限が適切であると感じている場合、RI に経費がかからない形で、地区による研修行事 (PETS および地区研修・協議会を含む) の延期 (2020 年 6 月 30 日まで)、またはオンラインでの開催を容認することに同意しました。
- ・新型コロナウイルスの影響でオンラインの研修会合を開催する地区は、次の項目を扱う 1 時間のオンライン会合を少なくとも 3 回開くことを推奨しました: 1) ロータリーの戦略計画、2) 参加者の役割と責務、3) 年度の目標。また、地区の研修

会合におけるほかのすべての要件に従うことも推奨しました。

- ・地元政府が新型コロナウイルスの影響で集会に制限を加えることを推奨している、または地区が集会への制限が適切であると感じている場合、ロータリーへの経費負担がない形で、地区が地区大会を延期 (2020 年 6 月 30 日まで) または中止することを容認することに同意しました。

RI 理事会の特別オンライン会合 (3 月 18 日)

理事会は、直接顔を合わせるの 2020 年 RI 国際大会 (ホノルル) を中止し、登録料ならびに登録出席者が購入した RI チケット制行事の料金の払い戻しを承認しました。

4 月の RI 理事会オンライン会合 (4 月 21~24 日)

理事会は、

- ・2020 年 6 月 20~26 日に、バーチャル国際大会を開催することを承認しました。



- ・以下の一般原則に同意しました:
- ・ロータリーのプログラム、会合、行事の全参加者の健康と安全が何よりも重要である。
- ・ウイルス流行のため出席したくないと感じるいかなるロータリー参加者に対しても、直接顔を合わせる会合や行事への出席が義務づけられないものとする。
- ・ロータリーの会合のすべての招集者と運営者は直接顔を合わせる会合を実施するか否かを決定する際、あらゆる健康上の懸念を考慮することが強く奨励される。
- ・ロータリーの会合のすべての招集者と運営者は、当該地域で有効となっているすべての健康と安全上の規則に完全に従うものとする。
- ・上記の原則を念頭に、以下の具体的なロータリー活動の規則と指針を採択しました:
- ・2020 年 (暦年) 末まですべての RI 理事会会合はオンラインで実施される (直接顔を合わせて実施されない) ものとする。
- ・2020 年 (暦年) 末まですべての RI 委員会会合は、

オンラインで実施される（直接顔を合わせて実施されない）ものとする。

・事務総長は、緊急対応策を立案し、2020年6月理事会にその中間報告を提出するものとする。その目的は以下の通り：

・2021年国際協議会に物理的に参加できないガバナーエレクトを研修するため。

・ガバナーエレクトのうち40%以上が物理的に参加できない場合、2021年国際協議会をオンラインで開催するため。

・2020年ロータリー研究会の招集者は、研究会およびガバナーエレクト研修セミナーとガバナーノミニ研修セミナーを、直接顔を合わせる方法かオンラインのどちらで実施するかを決定する権限が与えられる。ただし、

・特例的な状況により事務総長が特別に承認した場合を除き、ロータリー職員は、直接顔を合わせて実施される研究会、ガバナーエレクトまたはガバナーノミニ研修に出席しないものとする。

・会長により特別に承認された場合を除き、理事が担当ゾーンまたは地域外での研究会に出席するための経費は支払われないものとする。

・全地区に対する公平さを保つため、RIは、2020-21年度の地区大会の会長代理の経費を一切支払わない。地区が会長代理の派遣を要請した場合、会長は、地区が所在する同じ地域から会長代理を任命できるが、RIによる経費の負担はない。

・ガバナーは、2020年（暦年）中のクラブ訪問をオンライン会議を用いて行うことが強く奨励される。

・地域リーダーは、2020年（暦年）中の研修セミナーとその他の行事をオンライン会議を用いて行うことが強く奨励される。

・事務総長は、2020-21ロータリー年度中のロータリー青少年交換プログラムの実施におけるリスク評価を準備し、それを2020年6月理事会会合で報告するものとする。

・新型コロナウイルスの流行中にロータリーがバーチャル技術を有効活用する方法について総合的に調査するため、9名から成るパンデミック対応タスクフォースを合同で任命するよう、会長ならびに会長エレクトに要請し、このタスクフォースの任期を2020年10月31日までとすることに同意しました。

フェースシールド寄贈

第2820地区は、4月30日、茨城県内の医療従事者向けに医療用防護マスク（フェースシールド）9600個を寄贈しました。中村澄夫ガバナーはじめ4人の会員が県庁を訪れ、大井川和彦知事に直接手渡しました。



第2820地区では4月に予定していた地区大会が新型コロナウイルス感染症対策として中止となり、日夜、最前線で奮闘されている、医療関係者の皆様にはできないことではないかと地区内クラブが寄贈に至りました。



【ニコニコBOX】

石君平さん：コロナ感染早く終わりますように。

沼田操さん：長い休みで体調崩して長いGWでした。

花園文熙さん：コロナウイルスで中々皆さんに会えずしばらくぶりです。

石川武信さん：皆様しばらくぶりです。今川さんお世話になります。

小森勇一さん：5月は結婚月です。

大高司郎さん：久しぶりの会合は理事会、皆様お元気の様子です。

大河原浩さん：新型コロナ皆で乗りきりましょう！

今川隆さん：皆様ようこそ！今川家へ！あおぞら理事会気持ちいいですね。

本日計 11,000円

累計 669,000円